

林道箆山線駐車場から徒歩約1時間10分



## 箆山 (905m)

賀露港(鳥取市)の漁師が目印にしていた山だけあり、天候が良ければ日本海が望める。5月中～下旬には、山頂一帯が満開のツツジでピンク色に染まる。尾根やつづら折れなどコースが多く歩き方に応じて楽しめる。神社、古寺など周辺の見どころも豊富。

伝説

蛇の輪

箆山の中腹に出現するというミステリーサークル“蛇の輪”には、その名の通りヘビの伝説が残る。恋に破れた娘の魂がヘビとなって住み着き、大蛇が輪になったような跡を山肌に残すのだと伝えられる。山の開発が進むにつれ、姿を消していったのだとか。

## 豊乗寺 (真言宗)

国宝「絹本着色普賢菩薩像」(東京国立博物館に出品)や重要文化財を有する古寺。境内には樹齢600年の大杉が3本ある。



豊乗寺/惣地集落から徒歩約15分

写真左:箆山山頂付近から直下の「ナメラ谷作業道」まで一気にかけ下りる尾根つたいの登山道。やや上級者向きだが、急斜面をヤブカキしながらの野趣たっぷり“本当の山歩き”が楽しめる。



急勾配登山道合流点から林道箆山線まで徒歩約40分



岩神城跡から続く登山道には、所々に人の手で切り出したような四角い石が見られる。途中に古い炭焼窯跡などもあり、ロマンがかき立てられる。

## 牛つなぎの木

昔は、牛に草を与えるため箆山中腹辺りまで牛を連れて来ていたといい、この木に綱をかけたのだとか。根元に数本シワがあり、綱の跡のようにも見える?

牛つなぎの木/林道箆山線駐車場から徒歩約25分



楽しみ方ガイド



絶景地



記念撮影に絶好



巨木や自然



文化財



食事や喫茶

13

初心者も安心

中級者に最適

上級者も納得

基本コース所要時間  
約4時間30分



箆山山頂手前

# 箆山・岩神城跡エリア

見晴らしのよい低木の山頂とふもとの神社、古寺が見どころ

ナメラ谷作業道/惣地(そうぢ)集落から徒歩約20分



箆山山頂直前に立つ無線塔。さすがに見晴しが良く、撮影にもぴったり。無線塔も1枚押さえておきたい。



無線塔/箆山山頂数百メートル手前



笠山登山道ルート

見晴らし抜群！  
笠山  
905.5m

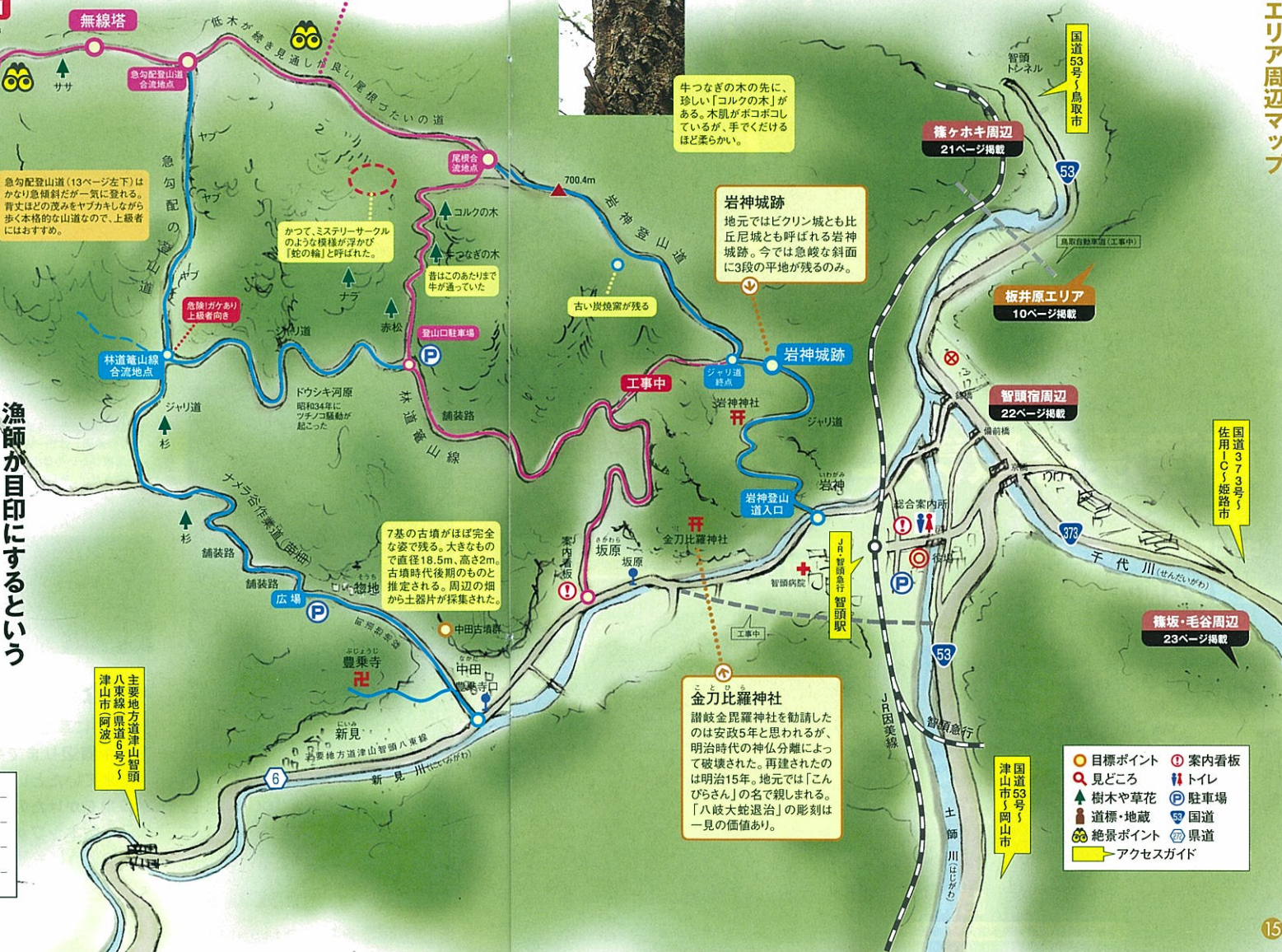
ツツジ (5月中～下旬)  
無線塔  
ササ

**【周辺ルート】**  
岩神登山道＝智頭駅＝徒歩約4分＝岩神登山道入口＝徒歩約30分＝岩神城跡＝徒歩約5分＝ジャリ道終点＝徒歩約50分＝尾根合流地点  
窓地・ナメラ谷ルート＝「豊乗寺口」バス停＝徒歩約10分＝広場駐車場＝徒歩約40分＝林道笠山線合流地点  
※智頭駅＝車で約5分＝広場駐車場

**【周辺ルート】**  
急勾配の登山道下山＝徒歩約35分＝林道笠山線合流地点＝徒歩約20分＝登山口駐車場

漁師が目印にするという  
見晴らしのよい山頂が魅力。  
ふもとには城跡や神社、古寺など  
歴史豊かな見どころが点在。

**ポイント**  
ふもとから眺めるとひととき存在感があり、懐の深い笠山だが、林道が整備され、わりと手軽に歩ける。つづら折りの林道から、見晴らしの良い尾根つたいの登山道などコースも多彩。



牛つなぎの木の先に、珍しい「コルクの木」がある。木肌がゴコゴコしているが、手で触ると柔らかい。

**岩神城跡**  
地元ではピクリン城とも比丘尼城とも呼ばれる岩神城跡。今では急峻な斜面に3段の平地が残るのみ。

**金刀比羅神社**  
讃岐金毘羅神社を勧請したのは安政5年と思われるが、明治時代の神仏分離によって破壊された。再建されたのは明治15年。地元では「こんびらさん」の名で親しまれる。「八岐大蛇退治」の彫刻は一見の価値あり。

7基の古墳がほぼ完全な姿で残る。大きなもので直径18.5m、高さ2m。古墳時代後期のものと推定される。周辺の畑から土器片が採集された。

主要地方道津山智頭八東線(県道5号)  
津山市(阿波)

- 目標ポイント
- 📍 見どころ
- 🌳 樹木や草花
- 🏠 道標・地蔵
- 🏞️ 絶景ポイント
- 🚗 案内看板
- 🚻 トイレ
- 🅇 駐車場
- 🛣️ 国道
- 🏞️ 県道
- 👉 アクセスガイド



トロッコ道石垣／遊歩道入口から徒歩約10分



トロッコ線路跡／遊歩道入口から徒歩約30分

## 今は無きトロッコ道

昭和40年頃まで伐採した木を切り出すためにトロッコが使用されていたが、今はわずかに、その面影が残されているのみ。石垣は90度近い傾斜で1つ1つ手積みされ、その美しさはまさに芸術品。

小豆転がし／遊歩道入口から徒歩約10分



昔、ここから谷に小豆を転がすと一粒も無くなることなく、一升ますに受けることができたと言われる。

## 芦津溪谷源流の造形美

芦津源流コース沿いを中心に、芦津溪谷には無数の滝が点在する。四季で刻々と変化する雄大な山々のコントラストと相まって、大自然の造形美を見せる。

知識

智頭町内では巨木調査が行われており、写真のように巨木には番号が振られている。町役場に行けば一覧表がある。  
智頭町役場 Tel: 0858-75-4111 (代)



二ツの滝／源流コース入口から徒歩約50分



三滝／遊歩道入口から徒歩約15分

## 芦津溪谷の巨木たち

芦津溪谷にはブナ・杉・コナラなどさまざまな巨木が点在している。その出で立ちにはまるで溪谷に住む主のよう。

知識

芦津溪谷では、季節ごとに様々な植物と出会うことができる。その代表的なものをご紹介します。



**←マムシグサ**  
茎にマムシの皮のような模様がある。根をポットン便所に入れると虫がわかず、ウジゴロシとして地元の人に使われていたそう。



ザゼンソウ

仏炎苞に抱かれた花序の形が、座禅を組む僧侶を連想させることから命名された。芦津の一角には群生地帯もある。



ダイモンジソウ

花の形が「大」の字に見える。ユキノシタ科の植物で白くて、可憐な花を咲かせる。



**←ミスメ**  
枝を折ると、サロンの臭いがする。



三滝ダム湖／遊歩道入口から約40分



ブナの巨木／三滝ダム北側

寄り道ガイド みたき園：曲炉裏のある部屋や屋外で山菜料理が楽しめる。4～12月第1日曜まで開園。Tel: 0858-75-3665



ダム湖奥つり橋／源流ルート入口から徒歩約10分(左回り)

# 芦津溪谷散策エリア

ファミリー向き  
初心者にも最適

すばらしい溪谷美が手軽に楽しめるコース

中国自然歩道(三滝遊歩道ルート)

所要時間: 約45分(片道)

三滝ダム周辺ルート

所要時間: 約35分

芦津源流ルート

所要時間: 約50分(片道)



烏帽子(えぼし)岩／遊歩道入口から約5分



# 芦津溪谷散策エリア

**中国自然歩道ルート** 所要時間：約45分(片道)

**三滝ダム周辺ルート** 所要時間：約35分

**芦津源流ルート** 所要時間：約50分(片道)

**中国自然歩道ルート**(所要時間：約45分(片道))  
 智頭駅=車で約25分=遊歩道入口=徒歩約20分=三滝=徒歩約20分=三滝ダム=徒歩約5分=公共トイレ

**三滝ダム周辺ルート**(所要時間：約35分)  
 公共トイレ=徒歩約15分=つり橋=徒歩約15分=三滝ダム=徒歩約5分=公共トイレ

**芦津源流ルート**(所要時間：約50分(片道))  
 公共トイレ=徒歩約50分=ニツの滝

※芦津バス停=徒歩約1時間15分=遊歩道入口



三滝神社/公共トイレから約25分



三滝ダム

**芦津溪谷散策エリア周辺マップ**  
 鳥取砂丘を育んだ源流  
 厳しい自然が織りなす景観は  
 国立公園にも指定されており、  
 四季を通じて、その雄大な  
 溪谷美を気軽に楽しめる。  
**特に紅葉は格別。**

**ポイント**  
 全ルートを通じて中国自然歩道として整備され、散策がてらのハイキングはおすすめ。また近くにはキャンプ場もあり、山菜狩り、溪流釣りなど、アウトドアが存分に楽しめる。  
 中国自然歩道ルートは切り立った自然のコントラストが最高の溪谷に沿った遊歩道を歩く。間近で見る三滝は眺めが素晴らしい。三滝ダム周辺ルートでは新緑や紅葉が湖面に映り、大変美しい。芦津源流ルートでは、花崗岩の崖や巨岩や急流、淵があり、源流に触れることもできる。西日本屈指といわれる見事な溪谷美を楽しめる。



芦津発電所  
 八河谷～柿原中国自然歩道・滝漣エリア  
 26ページ掲載  
 至芦津集落/県道6号  
 至若桜町/県道72号

## 中国自然歩道ルート

## 三滝ダム周辺ルート

## 芦津源流ルート



ニツの滝/源流コース入口から徒歩約50分

- 目標ポイント
- 🔍 見どころ
- 🌳 樹木や草花
- 🏠 道標・地蔵
- 📍 絶景ポイント
- 👤 案内看板
- 🚻 トイレ
- 🚗 駐車場
- 🇯🇵 国道
- 🛣️ 県道
- 👉 アクセシビリティ



公共トイレ/源流コース入口、ダム周辺コース入口





初心者も安心

ファミリー向き



国登録有形文化財塩屋出店／智頭駅から徒歩約10分

# 智頭往来エリア

文化庁選定「歴史の道百選」・遊歩百選・美しい日本の「歩きたくなるみち」500選に選定

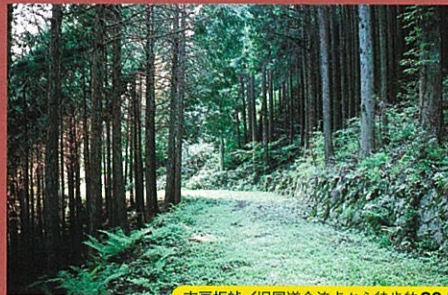
## 参勤交代で栄えた宿場町と旧街道の峠道



石谷家住宅／智頭駅から徒歩約13分

### 石谷家住宅 (国登録有形文化財)

江戸時代には大庄屋も務めたこともある「石谷家」。約40の部屋と広い庭を有し、大規模(敷地3000坪)な近代和風建築として評価が高い。(見学可、水曜休)



志戸坂峠／旧国道合流点から徒歩約20分

### 篠ヶホキ周辺

所要時間：約1時間30分

### 智頭宿周辺

宿内散策所要時間：約2時間

### 篠坂・毛谷周辺

所要時間：約1時間15分

### 中原・樽見周辺

所要時間：約50分

### 駒帰・志戸坂峠

所要時間：約1時間30分



智頭往来エリア周辺マップ







中原・樽見周辺

所要時間：約50分

魚の棚

約280年前の江戸時代に書かれた文獻に「絶景アリ」と紹介された風景は、今もほとんど変わっていない。



魚の棚／福原橋から徒歩で約7分

参 中原・樽見周辺  
考 無辺地蔵(篠坂・毛谷周辺)＝徒歩20分＝智頭急行山郷駅。智頭駅＝車で約10分＝智頭急行山郷駅。智頭急行山郷駅＝徒歩約25分＝福原橋＝徒歩約25分＝副ヶ瀧

☐

☐

☐

☐

☐

☐

メモ

駒帰～志戸坂峠

25ページに続く

副ヶ瀧

落差50mの細い一糸の滝。旅人が都に早く上がりたい心情を詠んだ一首「けふ(今日)いなばその瀧山こえるなり都にかけよ夢のうきはし」が歌碑となつて滝の正面に立つ。滝がある山の山頂には不動明王を祀る祠がある。



智頭往來／樽見橋から徒歩で約2分

中原の観音堂

元禄3年頃の建築。如意輪観音像を安置する。トイレあり。

新田・大倉山

31ページに続く

山郷駅

牛・馬の守護の神として親しまれる大日如来。智頭、美作一帯に多くみられる。

篠坂～毛谷

23ページに続く



橋を渡ってすぐ上がる

国道373号／智頭宿

駒帰～志戸坂峠

所要時間：約1時間30分

国道373号／西栗倉村  
中国道 佐用IC(地路市)

駒帰～志戸坂峠

参 副ヶ瀧(中原・樽見周辺)＝徒歩15分＝御茶屋跡。智頭駅＝車で約15分＝御茶屋跡。  
ム 御茶屋跡＝徒歩約35分＝旧国道合流点＝徒歩約35分＝志戸坂峠＝徒歩約20分＝広場(西栗倉村)  
※広場＝徒歩約40分＝智頭急行あわくら温泉駅

志戸坂峠

参勤交代で栄えた智頭往來の国境の峠。9世紀に編纂された「日本後紀」などから古くより官道として利用されていたと思われる。平安時代には国守(平時範)を迎える「境迎え」の儀式も行われた。明治18年、旧道の開削工事が始まり、人力車も通う立派な道ができた。昭和10年には「志戸坂隧道」が開通し、昭和56年には、現在の新しいトンネルが開通した。

時節記(ときせき)

平安時代に志戸坂峠を越えた人物に平時範がいる。徳は承徳2年(1098)7月に因幡国(現鳥取県東部)の守に任命され、この地に赴いた。その時の様子が日記「時節記」に記されている。

境迎え(さかむかえ)

平安時代、新任の国司が京都から任地へ赴く時、国司の役人が国境まで出向いて挨拶を交し、歓迎の宴を催すこと。

向山(むこやま)五輪群

五輪群の中央、安山岩の3基の宝印塔は15世紀後半から16世紀前半の様式で、それを取りまく五輪塔は16世紀後半から17世紀はじめのものが含まれる。

志戸坂峠

明治に積まれた石垣や石組水路が当時のまま残る。当時の技術の高さにはおどろかされる。

志戸坂峠

「駒帰り峠に向かう麓かな」は、鳥取市出身の尾崎放哉が上京のため人力車で志戸坂峠を越えた時に詠んだ俳句。俳句雑誌で、この辺地蔵のことも紹介された。

志戸坂峠

「大木に隠れて雪の地蔵かな」これも尾崎放哉の詠んだ句。



地蔵仏／御茶屋跡から徒歩で約7分

☐

☐

☐

☐

☐

☐

メモ

- 目標ポイント
- 📍 見どころ
- 🌳 樹木や草花
- 🚶 道標・地蔵
- 🏞️ 絶景ポイント
- 👉 アクセスガイド
- 📌 案内看板
- 🚻 トイレ
- 🚗 駐車場
- 🛣️ 国道
- 🛣️ 県道

御茶屋跡

参勤交代の国境として重要な駒帰には、藩主の休憩所があった。

山郷・樽見

24ページに続く